

文芸書



JR上野駅公園口  
柳 美里/著  
東京オリンピックの前年、男は出稼ぎのため、上野駅に降り立った。そして男は彷徨い続ける、生者と死者が共存するこの国を…。福島県に生まれた一人の男の生涯を通じて「日本」を描く。『文藝』掲載を単行本化。全米図書賞翻訳文学部門(2020年)

今度生まれたら  
教室に並んだ背表紙  
チンギス紀 日輪 9  
スパイの妻  
ブラック・ショーマンと名もなき町の殺人

内館牧子  
相沢沙呼  
北方謙三  
行成 薫

夢幻  
騙る  
しのぶ恋 浮世七景  
おもかげ  
ふつうでない時をふつうに生きる  
明るい覚悟 こんな時代に  
依存症/境界性人格障害 大切な人をなくさないために  
優しい暴力の時代

東野圭吾  
上田秀人  
黒川博行  
諸田玲子  
浅田次郎  
岸本葉子  
落合恵子  
けるすけ  
チョン・イヒョン

DVD



アガサ・クリスティー  
ねじれた家



男はつらいよ 50  
お帰りの寅さん



映画すみっこぐらし



はたらく細胞 VOL.1

一般書・児童書



60歳からの青春 18きっぷ入門  
松本 典久/著



13歳から分かる!7つの習慣  
「7つの習慣」編集部/監修



カルディ大百科  
晋遊舎



怪物園  
junaida/著



中華一筋のべっぴん絶品料理  
鈴木 邦彦/著



カカムラド  
～ナカムラのおじさん  
ガフワラ/原作



ピンポンパンポン  
劇団ひとり/著 中居 正広/著  
古市 憲寿/著

上士幌町図書館ブログでも入荷情報をご案内しています。

<https://horonlibrary.blogspot.com/>



かみしほろ  
としよかんたより



上士幌町図書館 生涯学習センター1階 ☎2-4634

◆開館時間 10:00～18:00 貸出制限なし(ただしDVDは3タイトルまで)

◆休館日 毎週月曜日・月末日(最後の平日)・年末年始(12月30日～1月5日)

ご自由にお持ち帰りください  
「リサイクル本コーナー」を開設します

図書館の除籍本を町民の皆さんに還元します。本来であれば、「古本市」を開催して、大きな会場にすべて展示して見ていただくところですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、図書館のロビーに小さなコーナーを設け、2か月間にわたって少しずつ見ていただけるように展示します。図書館、またはわっかにお越しの際は、ぜひお立ちよりください。

◆期間 令和3年2月2日(火)～3月31日(水)

生涯学習センター開館日はすべてご利用いただけます。

◆場所 図書館ロビー

※持ち出し冊数の制限はありませんので、ご自由にお持ち帰りください。

DVD貸し出しサービス、  
拡大期間を設けます



図書館では、この約1年間、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年行っている図書館事業を、中止、または制限して開催してきました。また、毎年2月に開催している「図書館体験の日」も中止することにしました。

そこで、ご家庭では少しでも楽しく有意義に過ごしていただきたいという思いを込めて、DVD貸出サービスの拡大期間を設けます。

◆DVD貸出サービス拡大期間 2月2日(火)～2月28日(日)

◆1回に借りられるDVDの枚数 通常3枚のところ、5枚

◆DVD貸出期間 通常1週間のところ2週間

ようこそおはなしの世界へ

★お話し会

◆日時 2月13日(日) 10:30～

◆会場 生涯学習センター視聴覚ホール

◆定員 15名

◆注意点 マスクの着用をお願いします

★えほんのトビラ

◆日時 2月20日(日) 10:30～

◆会場 生涯学習センター視聴覚ホール

◆定員 15名

◆注意点 マスクの着用をお願いします



おすすめの  
一冊

生きるぼくら 原田マハ・著



いじめから、ひきこもりに  
なった二十四歳の麻生人生。  
頼りだった母が、書き置きと、  
年賀状の束を残していなく

なる所から、物語が始まります。

年賀状に残された差出人の中で、長野の蓼科のおばあちゃんのことを思い出した主人公。祖母の自然農に近い米づくりに惹かれ、学び、生きる力を取り戻して行く過程の読み心地が、読者の心も一緒に浄化されるように感じます。

蓼科の登場人物は、優しい言葉だけでなく、現実を突きつけるような厳しさを持って主人公に迫ります。主人公は、そんな環境で、温かい言葉に癒され、励まされ、時には憤怒し、自分の中に残っていた生きる力を再生させていきます。

自然豊かな環境に、さまざまな個性のある登場人物たちが、力をあわせて挑んでいくことで、それぞれにどんな影響をうけて変化していくかも読みどころです。

また、山里のゆったりとした風景描写は、忘れていた大事なものを思い起こさせてくれる効果もあり、前向きになれる力を読者にも与えてくれます。

著者は美術館を舞台とした数々の著作に代表される作家ですが、自分の生き方は、いつだって良い方へ変えられる、という強いメッセージをこの作品から感じます。